

大西猪之介 おほいし 經濟學者。明治二十一年十一月二十八日京都市上
京區生れ。大正十一年一月八日歿（一八八一—一九三三）。筆名小西虎雄。神
戶高等商業學校を了へ、明治四十四年東京高等商業學校専攻部卒。大
正二年留學、ドイツではジンメルに哲學を學び、最も影響を受けれた。
戰亂の勃發に伴ひ歐洲各地を訪れたのちアメリカを経過、六年歸朝。
小樽高等商業學校教授在任中腸チブスを獲て死亡。著想及び行論に於
いてハゲヤアナリスティックな學問の幅を廣くするに貢獻した。（福
田徳三）として、その早逝を惜まれた。

著書に、『伊太利亞の旅』（大正八年十月八日東京寶文館）、『囚はれ
たる經濟學』（大正九年一月五日東京寶文館）、『人口と國力』（大
正十五年五月十日東京寶文館）、『大西猪之介經濟學全集』（第十卷
「社會主義論」昭和二年七月二十日寶文館）等。

